取扱説明書

（保証書付） 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています

HITACHI

日立加湿器

《ハイブリッド式（加熱気化式）》

SVF-H63D形 家庭用

このたびは日立加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは大切に保存してください。

もくじ

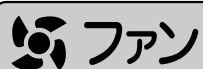
ページ

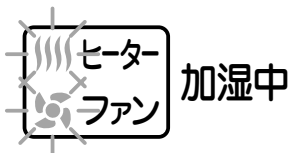
ハイブリッド式加湿器について

お部屋の湿度や温度に応じて、快適な湿度になるように加湿方式を自動的に選び運転します。

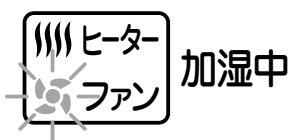
ハイブリッド式加湿器とは…

水を浸透させた気化フィルターに風を当て加湿を行う「気化式」と、水をヒーターで加熱し、蒸発させて加湿を行う「加熱式」を組み合わせた加湿方式のことです。
運転開始時はこの2つを併用して加湿し、設定湿度になるとヒーターを切り、「気化式」のみで加湿し設定湿度を保ちます。

気化式		加熱式
加熱しない分低電力	＋	水を加熱し、加湿を補助
ファン		ヒーター

※加熱式のみでは運転しません。

加湿中の表示は

加湿中

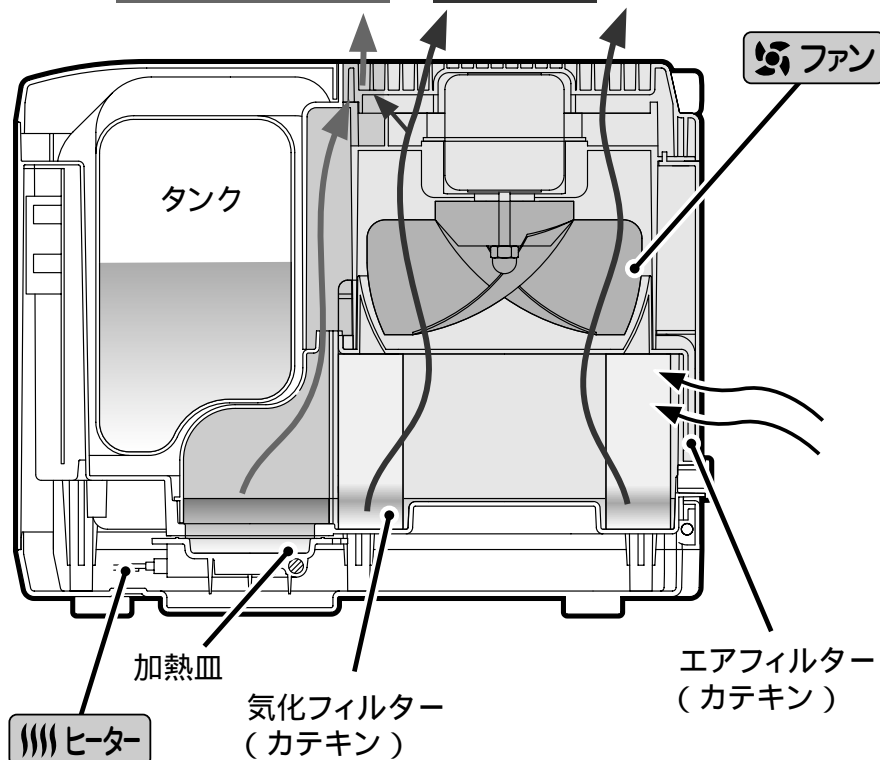
ヒーターとファンで加湿（215W）

気化式

加湿中

ファンのみで加湿（15W）

●湿度の高いときはヒーターランプ、ファンランプともに消灯し、加湿を一時的に停止して、湿度を調節するときがあります。

除菌中ランプ

運転開始時、本体内部の水温が低いとき点灯し、加湿皿内の水を約60℃以上に予備加熱（約5分間程度）後、ファンが回りだし、加湿を開始します。

ハイブリッド式加湿器の特性

●「気化式」＋「加熱式」のときでも湿った風を出して加湿していますが、蒸気などは見えません。
●水が蒸発するとき空気から熱を奪いますので、室温より少し低い温度の空気が出ます。
●雨の日など湿度の高いときは、洗濯物がなかなか乾かないのと同じ原理で気化フィルターに浸透した水が蒸発しにくくなり、加湿量が少なくなります。

安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告

改造は絶対にしない
サービスマン以外の人は、分解したり修理しない

（火災・感電・けがの原因）
修理はお買い上げの販売店または日立家電品のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水につけたり、水をかけたり、本体内に直接給水したりしない

（本体内部に水が侵入し、感電・ショート・発火の原因）

吸込口や吹出口などのすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない

（感電や異常動作してけがの原因）

定格15A以上のコンセントを単独で使う

（他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因）

お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜き、マグネットプラグも抜く
また、濡れた手で抜き差ししない

（感電やけがの原因）

電源コードを傷つけたり、破損したり、引っ張ったり、束ねたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない

（電源コードが破損し、火災・感電の原因）

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

（感電・ショート・発火の原因）

差込プラグやマグネットプラグ、プラグ受けのほこりなどは定期的にとる

（感電・ショート・発火の原因）

交流100V以外では使用しない

（火災・感電の原因）

本体内部のお手入れに塩素系、酸性タイプ、クエン酸などの洗浄剤は使用しない

（洗浄剤が残り、有毒ガスが発生して、健康を害する恐れ加熱皿の塗装がはがれて故障の原因）

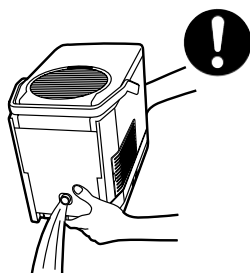
幼児にマグネットプラグをなめさせない

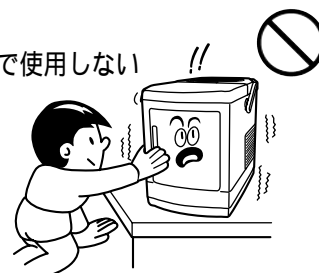
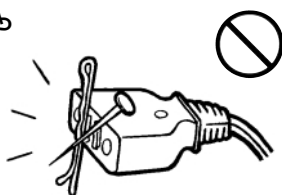
（感電やけがの原因）

安全のため必ずお守りください －つづき－

⚠警告

本体内の水を排水するときは、気化フィルターを外し、空気吸込口から水がもれないよう、排水口からゆっくりと排水する

（本体内部に水が回り込んで、感電、ショート、発火の原因）

倒さない
幼児の近くや、不安定な場所で使用しない

（転倒すると湯がこぼれて、やけど、ショート、感電、発火の原因）
倒したときは差込プラグを抜いてください。

マグネットプラグにピンやごみを付着させない

（感電・ショート・発火の原因）

差込プラグ、マグネットプラグは根元まで確実に差し込む

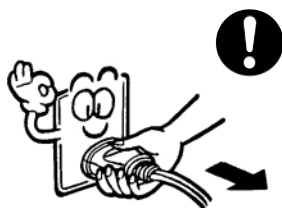
（感電、発熱して発火の原因）

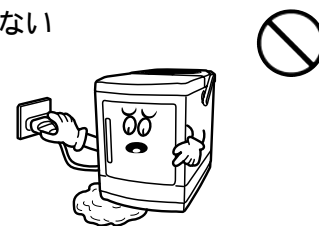
使用中や停止直後は持ち運びをしない

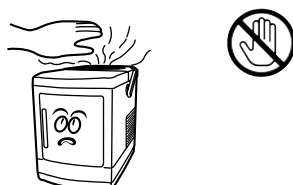
（湯がこぼれ、やけどの原因）

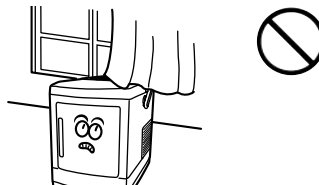
⚠注意

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜く

（感電やショートして発火の原因）

水漏れしたときは使用しない

（感電の原因）
水漏れしているときは、差込プラグを抜き、必ず修理を依頼してください。

吹出口にさわったり顔などを近づけない

（やけどの原因）
特にお子様やお年寄りには注意してあげてください。

吹出口や空気吸込口をふさがない

（変形や故障の原因）

熱に弱い敷物上で使用しない

（変色、変形の原因）

水が入っているときに本体を傾けない

（やけど、感電の原因）
空気吸込口から湯や水がこぼれることがあります。

使用しないときは差込プラグをコンセントから抜く

（けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因）

使用中や運転停止直後は、お手入れなど本体内部に触れない

（高温部やファンに触れたりしてやけどやけがの原因）
給水ランプ点灯中もファンが回転することがあります。

凍結させない

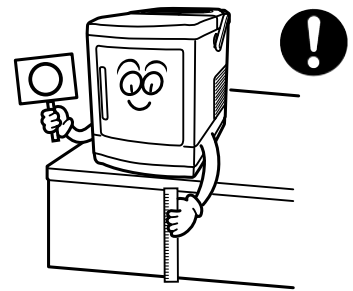
（感電や故障の原因）
凍結のおそれのあるときは、水タンクと水槽部内の水を捨ててください。

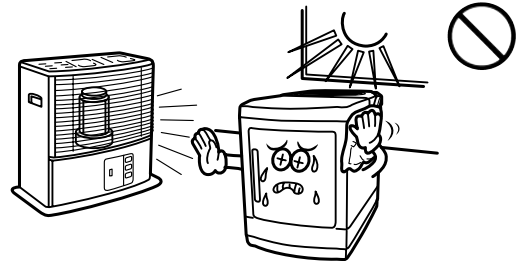
水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換え、気化フィルターと本体内部は常に清潔を保つよう、「お手入れのしかた」にしたがい定期的（週1回以上）に掃除する

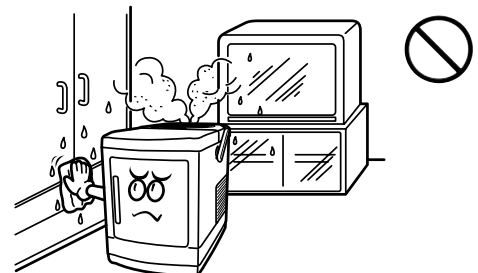
掃除せずに使用を続けると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し、悪臭がする場合があります。
まれに体質によっては過敏に反応し、健康に良くないことがあります。この場合は医師に相談してください。

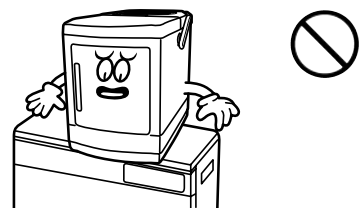
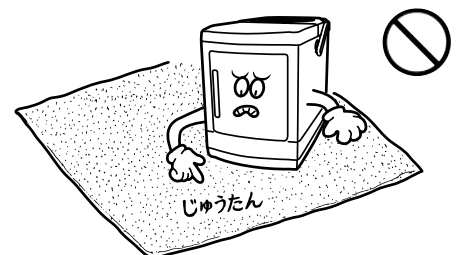
置き場所についてのお願い

正しい置き場所

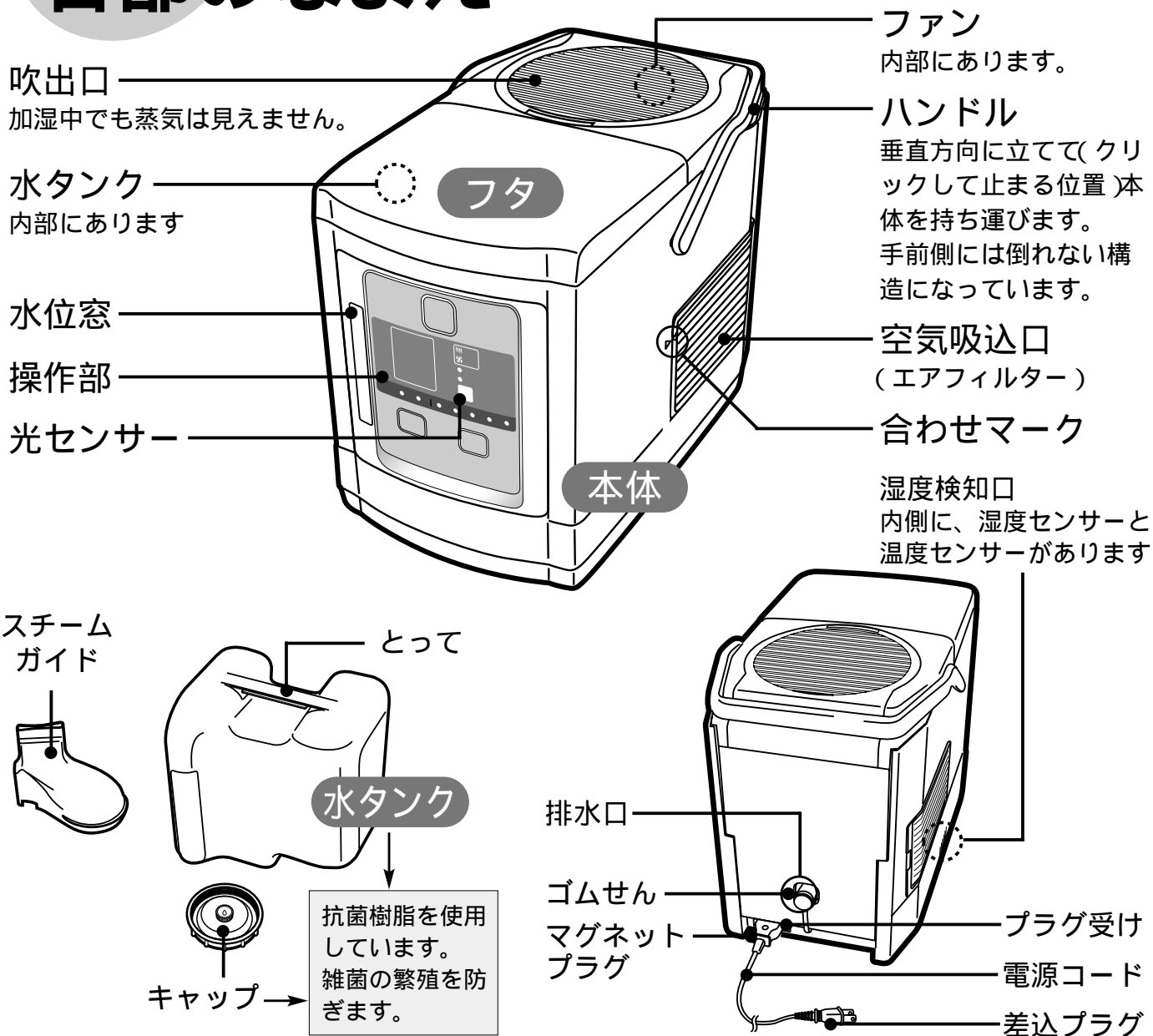
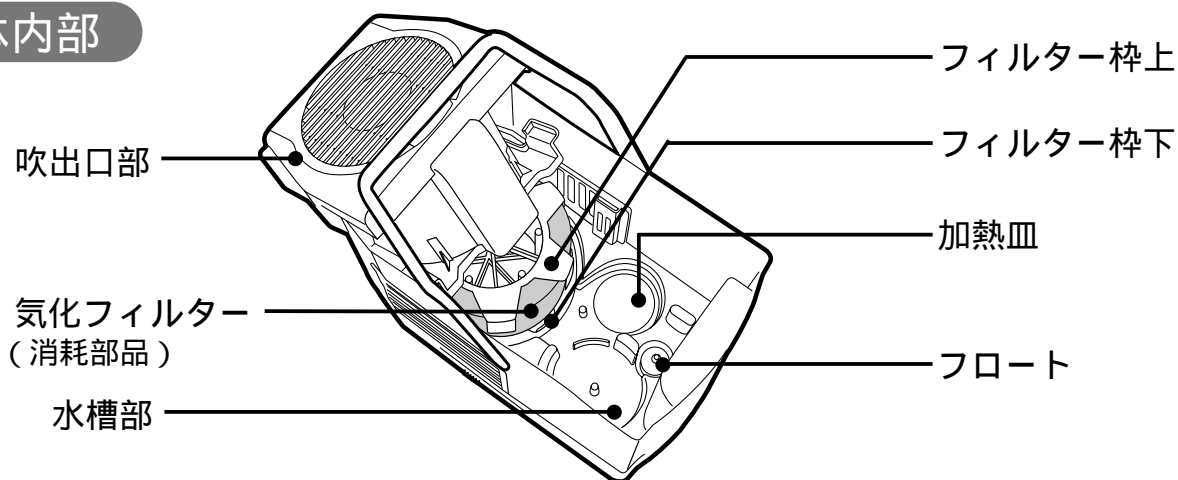
●床面から約0.5〜1mの棚やテーブルの上などの水平で振動のないところに置いてお使いください。
また、吹出口から天井までの距離を1m以上とってください。
満水時には重くなりますので、しっかりしたテーブルの上に置いてください。

次の場所には置かない

●暖房器具などの近くで、高温になるところ。
輻射熱や温風を直接受けるところ。
直射日光のあたるところ。
油のつきやすいところ。
（プラスチック部品が変形、変質の原因
センサーが正しく働かなくなる恐れ）

●加湿器の吹出した風が直接家具、楽器類、テレビなどの電気器具、壁、天井などにあたったり、周りに障害物があるところ。

（家具などにしみや変形ができたり、故障の原因）

●温風暖房器や電化製品及び不安定な台の上

（暖房器の熱で変形したり、故障の原因
センサーが正しく働かなくなる恐れ
転倒し感電・ショート・ケガの原因）

●吹出口・空気吸込口・湿度検知口をふさぐ恐れのあるところ
壁などから10cm以内、じゅうたんやビニール袋の上などで使用しないでください。
（プラスチック部品や敷物が変形、変質の原因
センサーが正しく働かなくなる恐れ）

●テレビ・ラジオ・コードレス電話などの近く
（テレビ・ラジオ・コードレス電話などに雑音が入る原因）50cm以上離す

●磁石や強い磁気のものの近く
（フロートが誤動作して空だきの原因）

各部のなまえ

気化フィルターとエアフィルターはカテキン成分で染色処理しています。
カテキンは体にやさしい天然成分で、細菌の発生・生育・増殖を抑制し、それぞれのフィルターに付着した菌に抗菌作用を発揮します。

操作部

運転入/切キー

運転を「入」「切」します。

●あらかじめ「節電」運転にセットしてありますので、初めて使用するときや差込プラグまたはマグネットプラグを抜き差ししたあとに押すと節電ランプが点灯し、「節電」運転を始めます。

ヒーターランプ

加熱式加湿運転中に点灯します。

ファンランプ

気化式加湿運転中に点灯します。

除菌中ランプ

運転開始時の水温が低いとき点灯し、加熱皿内の水を約60℃以上に予備加熱します。

現在湿度ランプ

現在湿度の目安を表示します。

現在湿度の目安		
	60	約55%以上
適湿	50	約45～55%
	40	約35～45%
乾燥	30	約35%未満

給水ランプ

運転中、水タンクの水がなくなると点灯し、加湿を停止します。

光センサー受光部

「節電」運転のとき光センサーが働き、周囲の明るさを検知します。

保安球（約5W）程度の照明で、暗いと判断するように調整しています。

切タイマーランプ

切タイマーキーで設定した運転時間を表示します。

切タイマーキー

加湿を自動的に止めたいとき使います。

（10ページ参照）

連続ランプ

湿度に関係なく、連続で加湿します。

（10ページ参照）

運転 入/切

ヒーター ファン 加湿中

除菌中

給水

光センサー

現在湿度の目安 60 適湿 50 40 乾燥 30

2時間 4時間 節電 自動 乾燥見張番 おさえめ 連続

切タイマー

運転モード切換

HITACHI

おさえめ加湿ランプ

運転モード切換キーで設定すると点灯します。

加湿量をおさえた断続的な加湿を行ないます。加湿量をおさえたいとき、長時間加湿したいときに使います。

（10ページ参照）

節電ランプ

「節電」運転のときに点灯します。

●部屋が明るいときは、現在室温と湿度を検知して、快適な湿度となるように自動運転を行ない、暗くなると光センサーが働き自動的に節電を行います。

（9ページ参照）

運転モード切換キー

お好みの運転（「節電」、「自動」、「乾燥見張番」、「おさえめ」、「連続」）を選びます。

（8ページ参照）

自動ランプ

運転モード切換キーで設定すると点灯します。光センサーは働きません。（9ページ参照）

乾燥見張番ランプ

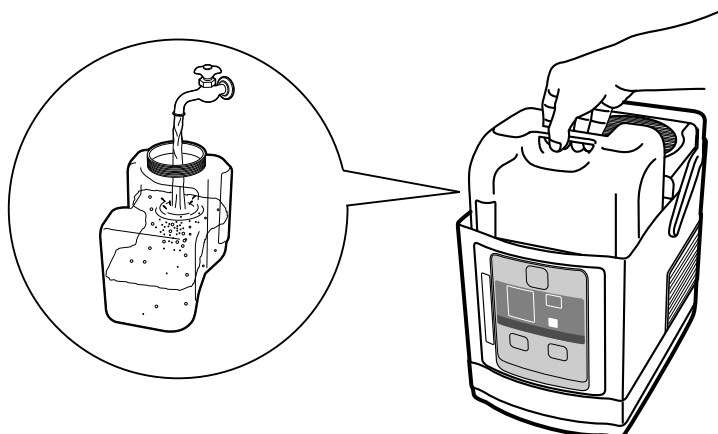
運転モード切換キーで設定したときや、「節電」運転中、部屋が暗くなってから約2時間後に点灯します。

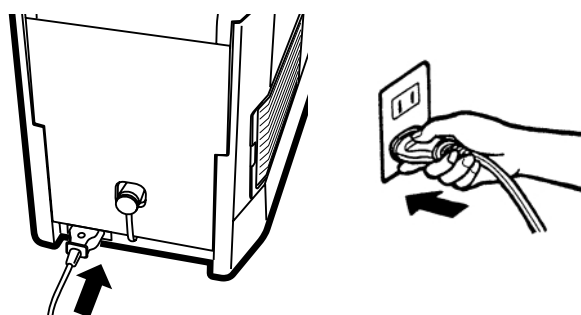
ファンがときどき回って、お部屋の湿度を見張り、約35%未満のときは乾燥見張番ランプを点滅させ、加湿を行っていることをお知らせします。（10ページ参照）

ご使用前の準備

1 給水する

①フタを外して水タンクを取り出し、キャップを外してきれいな常温の水道水を入れてください。

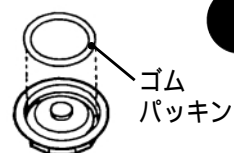
②キャップを確実に締め、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してから本体内に入れ、フタを閉じてください。

2 マグネットプラグを本体のプラグ受けに取り付け、差込プラグを交流100Vのコンセントに差し込む

運転中にマグネットプラグや差込プラグが外れると「ピッ」と音がします。

⚠注意

- **水タンクは給水中に倒したり落としたりしない。手でしっかり押さえながら給水する**
  （落とすと、けが、タンクの変形、破損の原因）

- **移動するときは、傾けたり、ゆすったりしない**（お湯等が流れ出し、やけどの原因）

- **浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは入れない**
  （カビや雑菌の繁殖、異臭発生の原因）
- **必ず水道水（飲用）を使う**

- **キャップのゴムパッキンが外れた場合は、図のように溝にはめこむ**
  （水漏れの原因）

- **お湯（40℃以上）や化学薬品、芳香剤、汚れた水などを入れない**
  （プラスチック部品が変形、変質したり故障の原因）

水がなくなったときは

水タンクの水位が水位窓下端に近づいたら、水タンクに水を補給してください。

- 水タンクの水がなくなると、給水ランプが点灯して自動的に加湿が止まります。
- 給水ランプ点灯後、ファンランプは消灯しますが、約1時間ファンが回転しています。その後給水ランプが消灯し、ファンが停止すると運転を停止します。
  給水ランプ点灯中は、給水した水タンクをセットすれば自動的に加湿を再開します。

ファンの回転は、高速／低速／停止の切り換えを室温や湿度、運転の設定に応じて自動的に行います。

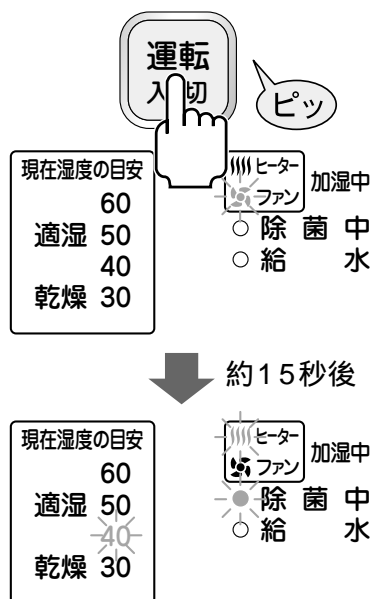
- 給水ランプ点灯中、ファンランプは消灯しますがファンは低速で回転しています。
- 「節電」運転または「自動」運転中、室温に応じファンは高速／低速／停止を自動的に切り換えます。
- 「乾燥見張番」運転中、湿度が約35％未満のとき、ファンは低速で回転し加湿を行ないます。
- 「おさえめ加湿」運転中、ファンは低速で回転し、断続的に加湿を行ないます。

正しい使いかた

運転と停止

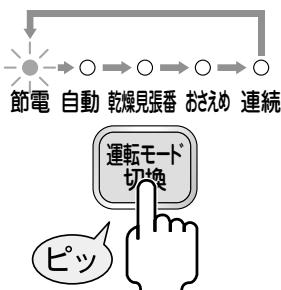
1 運転入/切キーを押す

「ピッ」と音がして節電ランプが点灯し、運転を開始します。

●約15秒間ファンが回り、その後水温が低い場合は除菌中ランプが点灯し、加熱皿内の水を約60℃以上に予備加熱します。同時に現在湿度を表示します。（水温により除菌中ランプが点灯しない場合があります。）

2 お好みに応じて 運転モード切換キーを押す

「ピッ」と音がして運転ランプが切り換わり、お好みの運転に設定します。

●初めてお使いになるときや、停電および差込プラグやマグネットプラグの抜き差しをした場合は、「節電」運転に設定されます。

●除菌中ランプが消灯すると、設定した運転で加湿を開始します。

3 停止するときは 運転入/切キーをもう一度押す

節電ランプが消灯し、運転を停止します。

●停止後数分間は本体内部の水が熱くなっており、蒸気が出る場合がありますので、吹出口には手を触れないでください。

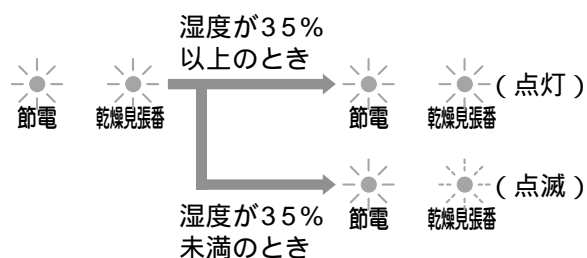
節電運転

●部屋が明るいときは、室温に応じ、快適な設定湿度を自動的に選び加湿します。
（室温が約20℃のときは、湿度が約50％となるように加湿します。）

●部屋が暗くなったら自動的に加湿を少なくし、さらに約2時間後は、「乾燥見張番」運転を行って節電します。

1 **光センサーが明るさを検知し、部屋が明るいときは、温度センサーと湿度センサーの働きで、室温に応じた快適な湿度になるように加湿します。**

2 **部屋が暗くなると加湿量が少なくなります。**
（保安球（約5W）程度の照明のときは暗いと判断するように光センサーを調整しています。）

3 **暗い状態が約2時間続くと、乾燥見張番ランプが点灯し、「乾燥見張番」（10ページ参照）と同じ運転に変わります。**
湿度が約35％以上のときは、加湿を停止し、ときどきファンが回って湿度を見張ります。
湿度が約35％未満になると乾燥見張番ランプが点滅し、加湿を行ないます。

4 **再び部屋が明るくなると、乾燥見張番ランプが消灯し、加湿を行ないます。明るくなってから約15分以内に暗くなったときは3の状態に戻ります。**

5 **明るい状態が約15分以上続くと1の状態に戻り、室温に応じた快適な湿度になるように加湿します。**

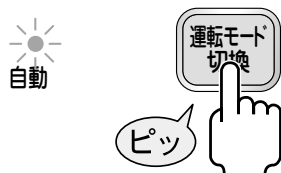
●光センサー受光部が物陰になっていたり、汚れていたり、光センサー受光部に光が当たらないような場所（本体を照明の真下や照明に背を向けて置いたとき等）では、動作が安定しない場合があります。

●湿度センサーは本体側面下部付近の湿度を感知します。

正しい使いかた －つづき－

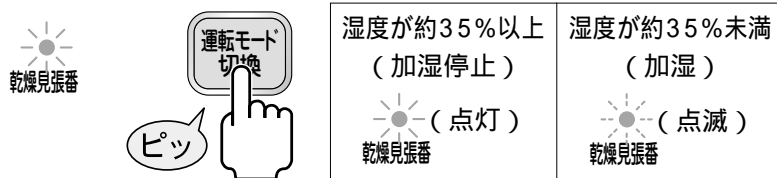
自動運転

●部屋の明暗に関係なく室温に応じ、快適な設定湿度を自動的に選び加湿します。
暗い所でも通常に加湿したいときに使います。（光センサーは動作しません。）

運転中に運転モード切換キーを押して設定する。

乾燥見張番運転

通常は加湿を停止し、ときどきファンが回って湿度を見張ります。約35％未満のときは加湿量を少なくし加湿します。

運転中に運転モード切換キーを押して設定する。

湿度が約35％以上（加湿停止）	湿度が約35％未満（加湿）
（点灯） 乾燥見張番	（点滅） 乾燥見張番

おさえめ加湿運転

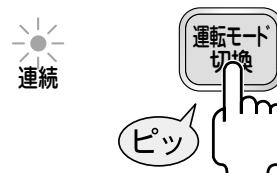
断続的に加湿を行ない、加湿量をおさえて静かに長時間運転します。
軽くうるおう程度の加湿や、小部屋（木造和室で約4畳程度）での加湿が必要なときに使います。

運転中に運転モード切換キーを押して設定する。

●「おさえめ加湿」運転は、断続的に加湿を行ないます。部屋の湿度が高いときは断続時間を自動的に調節して、さらに加湿量をおさえた運転をします。
●部屋の温度20℃、湿度30％のときに、1回の給水で約24時間加湿しますが、温度や湿度によりこの時間は変わります。

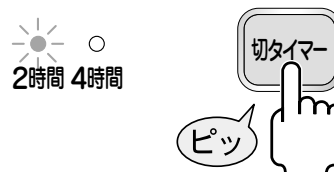
連続運転

湿度に関係なく「加熱式＋気化式」の連続で加湿します。

運転中に運転モード切換キーを押して設定する。

切タイマー

セットした時間（2、4時間）後に、自動的に運転を停止します。

切タイマーキーを押して希望の時間にセットする。

切タイマーキーを押すごとに「ピッ」と音がして表示が切り換わります。
（2→4→解除→2・・・）

セットした時間後に運転を停止し、ランプも全て消灯します。

●解除したときは「ピピッ」と音がします。
●水タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、給水ランプが点灯します。
●切タイマーランプは、運転が停止して消灯するまで、時間の経過に関係なく、セットした時間が点灯を続けます。
●運転停止後、差込プラグやマグネットプラグを抜かなければ、再セット時には前回の設定時間が最初にセットされます。

知っておいていただきたいこと

●この商品は気化式による加湿方式のため、部屋の湿度が高いほど、また温度が低いほど加湿量が少なくなります。
また、加湿中に蒸気は見えませんが、水タンクの水位が減っていれば、加湿しています。
●湿度センサーはファンで部屋の空気を吸い込むことにより、湿度を検知します。このためファンの停止中は湿度の検知は行なわれず、現在湿度の表示は変わりません。
●湿度センサーは暖房気流があたったり、直射日光で暖められたりすると、室内の湿度と異なるコントロールをします。
なお、同じ部屋でも場所や高さにより湿度が異なり、他の湿度計と差が出ることもあります。
現在湿度の表示は目安としてお使いください。
●自動設定された快適湿度を保つため、現在湿度の表示が設定された湿度になっても加湿を続けているときがあります。
●「節電」運転時、光センサー受光部に光が当たらないような場所では、断続運転や動作が安定しない場合があります。
●暖房中の快適な湿度は50%前後といわれていますが、結露や異常乾燥による悪影響を防止するために次のような点を目安にして、加湿器を運転してください。
○湿度が高すぎるとき
①比較的寒い北側の押入れなどに露がついたり、湿っぽい感じがする。
②窓や壁に露がたくさんつき、流れ出している。
気密性の良い部屋などでは50%前後の湿度でも温度の低い窓などに結露する場合があります。
○湿度が低いとき
①くちびるやのどが乾き、ひふがかさかさする。
②家具などのすき間が大きくなり、建具がそる。
●吹出口部を後方に倒して開けていると、安全装置が働き運転しません。吹出口部を閉じてから運転してください。
●この商品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

お願い

●湿度の高い(70%以上)ところでは「連続」で運転しないでください。
湿度が高いときには、家具や床を湿らしたりぬらすことがあります。
●お子様やお年寄りには注意してください。
お子様やお年寄り、ご病人のおられるご家庭では、加湿のしすぎや、本体の取り扱いなどについて注意してあげてください。
●暖房を止めたときは「連続」で運転しないでください。
暖房を止めた部屋や暖房しはじめの寒い部屋で使用すると、部屋の壁や床などは冷たいため、水滴となってつくことがあります。おやすみのときなどは、特に注意してください。
●本体底面は少し熱くなりますが異常ではありません。
●ハンドルは手前側には倒さないでください。
ハンドルは手前側には倒れない構造になっています。無理に倒そうとすると、ハンドルが破損することがあります。
●持ち運びは本体が左右に傾かないように必ずハンドルの中央を持って、静かに運んでください。
本体が傾いたり、ゆれたりすると空気吸込口から水がこぼれることがあります。
●ハンドルは外さないでください。

保　管

「お手入れのしかた」(12ページ)にしたがいお手入れ・清掃をしたあと、本体内部の水分をよくふき取り、陰干しして十分に乾燥させてから、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱などに納めて、湿気の少ないところに保管してください。特に気化フィルターは、カビの発生を防ぐため十分に陰干ししてください。

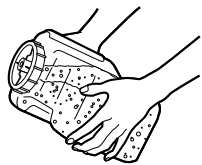
お手入れのしかた

⚠注意

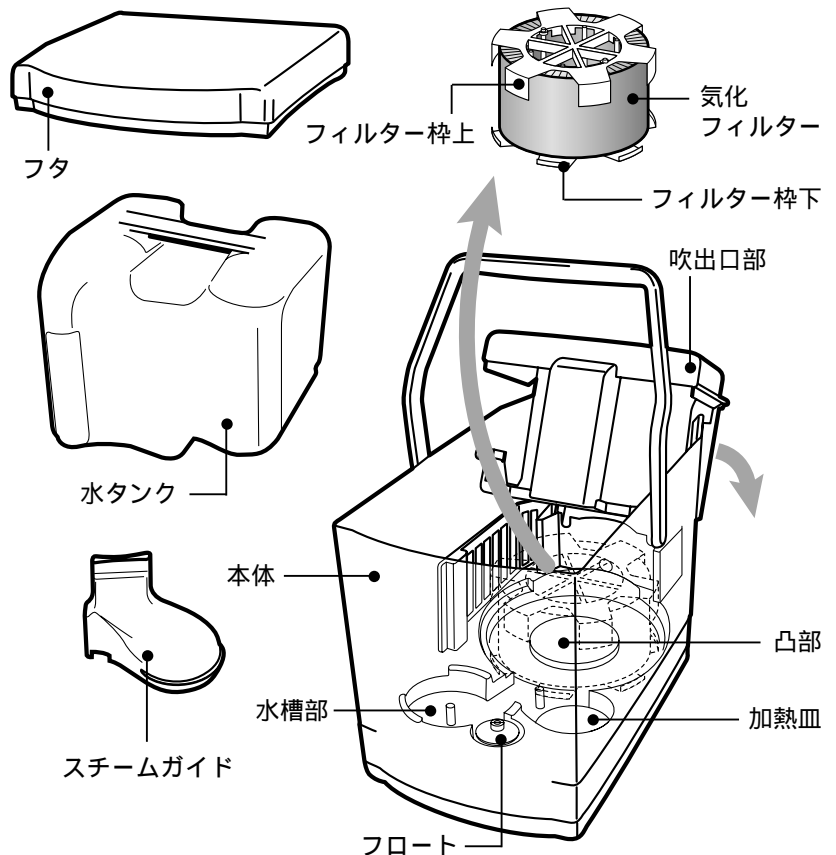
- 加熱皿など内部の清掃に金属ブラシ等を使わない。（さびの原因）
- ベンジン・シンナーなどではふかない。（変色や変形の原因）

- 必ず運転を止め、差込プラグをコンセントから抜いて、本体が冷えるのを待ってからお手入れを行う。（やけど・けがの原因）
  ご使用後30分以内はお湯や加熱皿が高温です。また吹出口部の内部はファンが回転します。
  給水ランプ点灯中は約1時間ファンが回転します。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがって使用する。（変色・キズの原因）
- 清掃後は､必ず各部品を元通りにセットする。（やけど・けが・故障の原因）
- 吹出口部の開閉時は、本体と吹出口部の間に指をはさまないよう注意する。（けがの原因）

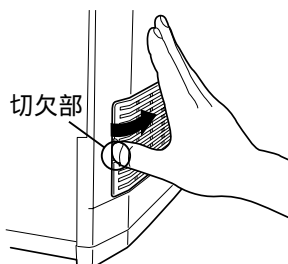
◆水タンク内の清掃（週に1～2回以上）

水タンク内に水を約２Ｌほど入れ、キャップを締めて水タンクをよく振り、排水してください。（これを2～3回繰り返します。）汚れがひどいときは、やわらかい布で内部の汚れをふきとってください。

◆エアフィルターの清掃（週に1～2回以上）

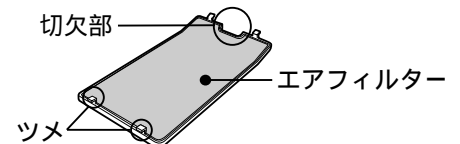
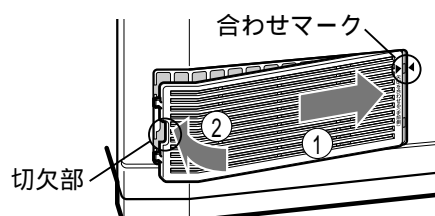
本体側面にあるエアフィルターを外し、掃除機などで、エアフィルターのほこりを取り除いてください。

- 汚れがひどくなりますと風の出かたが弱くなったり、床面の温度が高くなったり、また正しい湿度検知をしなくなりますので、早めに清掃してください。
- 清掃後は必ず本体に取り付けてください。

エアフィルターのはずしかた・取り付けかた

■エアフィルターのはずしかた

●エアフィルターの切欠部に指をかけ、矢印の方向に引き取り出す。

■エアフィルターの取り付けかた

●エアフィルターの合わせマーク（▶印）と本体の合わせマーク（◀印）が合うように①の矢印の方向にツメを差し込み、②の矢印の方向にはめ込む。

●エアフィルターは左右の形状が異なります。注意して取り付けてください。

◆気化フィルターと本体内部の清掃（週に1回以上）

（1）フタと水タンクを外し、ハンドルを垂直方向に立てて吹出口部を後方に倒して開ける。

（2）スチームガイドを外し、水洗いする。

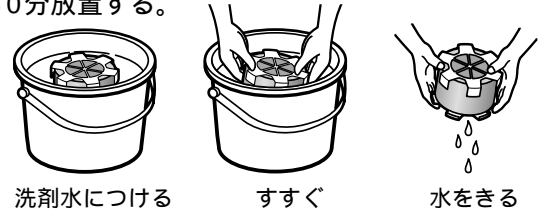
（3）フィルター枠上・下にセットしたまま気化フィルターを外し、洗浄する。

①洗剤を入れた水またはぬるま湯に気化フィルター全体をつけて約30分放置する。
こすったり、もみ洗いをすると気化フィルターを傷めます。

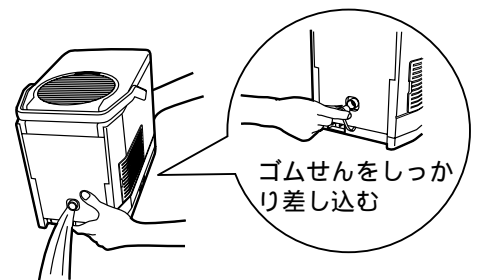
●洗剤はつけおきタイプの弱アルカリ性「花王　ワイドマジックリン」を使用し、水１Ｌあたり９gの割合で入れる。指定以外の洗剤は使わないでください。気化フィルターが傷んだり、汚れが落ちにくいことがあります。

①洗剤水につける

②すすぐ

③水をきる

②新しい水に入れ換え、気化フィルターを両手でおさえ、ゆすりながらすすぎ洗いを2〜3回繰り返す。
③洗ったあとに気化フィルターを両手でおさえながら、傾けて水をきる。

（4）排水口から本体内部の水を捨てる。

①吹出口部を閉じ、ハンドルを水平方向に倒す。
②本体背面のゴムせんを外し、排水口から少しずつ排水する。
③排水後はゴムせんをしっかり差し込む。

警告	
●空気吸込口から水がこぼれ出さないように排水する。（本体内部に水がまわりこんで感電、ショート、発火の原因）	
●プラグ受けに水をかけない。（感電の原因）	

（5）加熱皿・水槽部等本体内部の汚れを、水に浸した柔らかい布でふき取る。

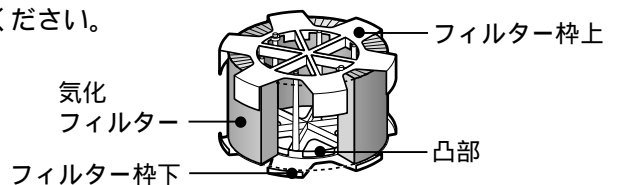
●フロートの周りにゴミが付着していたら取り除いてください。（故障の原因）
●加熱皿に付着した水あかが落ちにくいときは、歯ブラシや割りばしなどでこすり落としてください。
お手入れせずに使い続けると水あかがこびりついて取れなくなり、故障の原因になります。

（6）フィルター枠上・下にセットされた気化フィルターを本体の凸部にはめ込む。

このときフィルター枠下が浮き上がっていないことを確認してください。

（7）スチームガイドを加熱皿の上にのせ、吹出口部を閉じます。

このとき吹出口部が確実に閉じていることを確認してください。
不完全だと安全装置が働き運転しません。

（8）水タンクとフタを取り付ける。

◆気化フィルターの交換（1シーズンに1回）

●気化フィルターは消耗品です。1シーズン（約6ヵ月）を目安に交換してください。

交換用気化フィルター　（型式 SV－H6）　標準価格2,300円（税別）

●お手入れしても次のような場合は1シーズン（約6ヵ月）以内でも交換してください。におい、変色（黒・茶色）、汚れがひどい。水あかが厚く固まり、とれない。

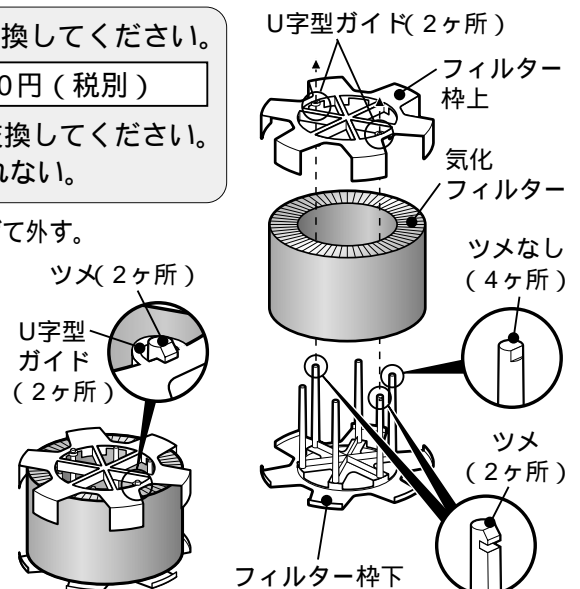
（1）フィルター枠下のツメ（2ヶ所）を内側に押して、フィルター枠上を持ち上げて外す。

（2）フィルター枠下を押さえ、気化フィルターを持ち上げて外す。

（3）新しい気化フィルターの輪を広げながら、フィルター枠下にセットする。

（4）フィルター枠下のツメの一方をフィルター枠上のU字型ガイドにはめ、次に気化フィルターを手で軽く押さえながら、フィルター枠上をやや斜め下に押し込み、もう一方のツメをはめる。

（5）ツメ（2ヶ所）がフィルター枠上の上部に引っ掛かっていることを確認し、本体にセットします。

※古い気化フィルターは「燃えないゴミ」として廃棄してください。（フィルター枠上・下は捨てないでください。）

故障かな？と思ったら

次のような症状のとき、異常でないことがあります。下表を参考にしてもう一度確認してください。

症　状	点検するところ	処 置 の し か た
蒸気が見えない	――――――――	正常です（蒸気がファンで冷却されるため、ほとんど見えません。ただし本体内部の水は熱くなっています）
加湿しない （送風しない）	差込プラグやマグネットプラグが外れていませんか	マグネットプラグをプラグ受けに取り付け、差込プラグをコンセントに差し込む
	吹出口部が開いていませんか	吹出口部を閉じてから運転入／切キーを押す
	室内の湿度が高くなっていませんか	正常です（「連続」以外の運転では、湿度が高いときは加湿（送風）を一定時間止めて湿度を調節することがあります）
	「おさえめ加湿」をセットしていませんか	正常です（「おさえめ加湿」では、断続的に加湿（送風）を行うので一定時間止まります）
	給水ランプが点灯していませんか	給水をする
	除菌中ランプが点灯していませんか	予備加熱が終わるまで待つ（約5分ほどファンを停止し、ヒーターに通電します）
給水しても給水ランプが消灯しない	フロートに水あかや鉄片が付着していませんか	フロートやその周りを掃除する
「連続」運転なのに、水タンクの水の減り具合が変わる	室内の温度や湿度が変わっていませんか	正常です（「気化式」は室温や湿度により加湿量が変わります。室温が低いほど、また湿度が高いほど加湿量は少なくなります）
ファンランプが消灯しているのに送風が止まらない	運転停止直後ではありませんか	正常です（運転を止めた直後は約15秒間送風を続け、本体を冷却します）
	給水ランプが点灯していませんか	正常です（水タンクが空になり、給水ランプ点灯後、約1時間送風します）
「節電」や「自動」運転なのに、室内の湿度が高くなっても加湿（送風）する	ファンの回転音が静かになっていませんか	正常です（快適湿度に達すると、加湿量を減らしてして湿度コントロールをします。さらに室内の湿度が高くなると加湿（送風）は停止します）
においが出る	●水が古くなっていたり、気化フィルターやエアフィルター、本体内部が汚れていませんか ●水道水以外を使用していませんか	●本体や水タンクに残っている水を捨て、「お手入れのしかた」にしたがい掃除する。 ●水道水を使用する。
送風量が少なくなった	気化フィルターやエアフィルターにほこりやゴミが多く付着していませんか	
「節電」運転のときに明るくなったり暗くなったりしても運転が変わらない	光センサーは保安球程度の照明のとき、暗いと判断するように調整してあります。 ●物陰等の暗い場所、照明が当たらない場所、明るさが頻繁に変化する場所などでは、動作が安定しないことがあります。	加湿器設置場所や向きを変える
	光センサー受光部がふさがれている	ふさいでいるものを取り除く
	光センサー受光部が汚れている	受光部の汚れをふき取る
現在湿度表示が60％から変わらない	室内の湿度が高くなっていませんか	正常です（湿度の低い場所に移動すると変化します。さらに加湿したい場合は、連続運転に切り換えます）

こんなランプ表示が出たら

- **給水ランプの点滅** 給水 …… **湿度センサーの故障です**
- **おさえめ加湿ランプの点滅** おさえめ …… **制御回路の故障です**
- **連続ランプの点滅** 連続 …… **加熱皿温度の異常またはフロートの故障です**

このようなときは、差込プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または、「日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表」（15ページ）の窓口に表示内容を連絡しご相談ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

■保証書（この商品は保証書付きです）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年です。
- ただし気化フィルターは消耗品ですから、保証期間内でも有料とさせていただきます。

■修理を依頼されるときは 持込修理

「故障かな？と思ったら」の項目を調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- 保証期間中は
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
  修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの加湿器の補修用性能部品を、製造打切後5年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器等整備費・一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または「日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表」（15ページ）の窓口にお問い合わせください。

■ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120－3121－11
FAX 0120－3121－34

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

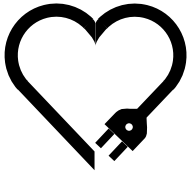
一般ご相談窓口 家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011－833－5088	札幌市白石区東札幌２条４－１－１０
東北地区	022－232－5088	仙台市宮城野区扇町１－１－４５
関東・甲信越地区	03－3834－8588	台東区東上野２－７－５（日立家電上野ビル）
中部地区	052－795－5088	名古屋市守山区川宮町５５（日立家電守山ビル）
関西地区	078－431－5088	神戸市東灘区甲南町１－３－８
中国地区	082－231－5088	広島市西区観音新町１－７－１７
四国地区	0877－47－1088	坂出市林田町４２８５－１４３
九州・沖縄地区	092－281－5088	福岡市博多区店屋町７－１８（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

仕　様

形　　式		SVF-H63D
定　　格		交流 100V-215W（50-60Hz共用）
最大加湿量 〈おさえめ加湿時〉		600mL/h（室温20℃、湿度30%、水温20℃） 〈約170mL/h〉
適用床面積		木造和室：17m²（10畳） プレハブ洋室：27m²（17畳）
タンク容量		約4.0L
寸　法	幅	24.0cm
	高さ	30.0cm
	奥行	37.0cm
質　量（重量）		約4.0kg（満水時 約8.0kg）
電源コード		約1.4m

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

●加湿器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後５年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。	●水漏れがする。 ●本体が異常に熱くなる。 ●運転中異常な音がする。 ●その他の異常・故障がある。	▶	お願い	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差込プラグを抜き販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

株式会社 日立ホームテック　　株式会社 日立製作所

〒105-8430　東京都港区西新橋2－15－12　電話 (03) 3502－2111

日立加湿器保証書　持込修理

形名	SVF-H63D	保証期間	本体：1年
※お買い上げ日	平成　　年　　月　　日		
※お客様	ご住所　〒 ご芳名　　　　　　　様		
※販売店	住　所 店　名 電話　　(　　　)		

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から左記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただきお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、商品をお買い上げの販売店（修理申出先）やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合。あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
● 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

株式会社 日立製作所

〒105-8430　東京都港区西新橋2-15-12　TEL(03)3502-2111

NH213436－01　2001-07(M)1